



砂川市長 善岡 雅文

砂川市は、未開の大地に開拓の跡が下ろされて以来、先人達の郷土愛とたゆまぬ努力によって都市基盤が築かれ、中空知の中核都市として発展し、昭和33年に北海道では26番目の市として「砂川市」が誕生しました。この記念すべき60周年を市民の皆様とともに祝いできますことは、このうえない喜びであります。振り返りますと、初代の森市長より、山口市長、中川市長、菊谷市長、そして私へ「まちづくりのバトン」が引き継がれ、この60年間には多くの施策が展開されました。北海道子ども国、高速道路と直結するハイウェイオアシス、砂川オアシスパーク、新市立病院、砂川S.A.スマートインターチェンジなどのプロジェクト事業や、住宅、学校、上下水道をはじめとする各種整備事業、「地域で高齢者を見守る・支えるしくみ」の構築や福祉・医療の充実に係わる事業など、砂川の未来を見据えたまちづくりの60年間であったと思われま

す。本年は、人の一生でいえば再び生まれたい年の千支に還ることとなる「選層」の節目となり、大きな自然災害などに幾度も悩まされながらも先人達のたゆまぬ努力により、まちが再生し今の砂川が当たり前のようになっていますが、砂川市が生まれたときに還り、これまでの歴史と伝統、郷土を愛する気持ちを次世代へ引き継ぐことも今を生きる私たち砂川市民の大切な使命だと感じております。「安心して心豊かに、いきいき輝くまち」を新たに目指す都市像と掲げ、2020年までの10か年を実施期間とした第6期総合計画も残りわずかとなり、「このまちに住みたい、住み続けたい」と思うことができるまちの実現に向け、決意を新たにしているところでございます。今日まで砂川市のまちづくりに熱意をもって取り組まれ、また、ご支援、ご尽力を賜りました先輩各位、ならびに市民の皆さんのご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。



砂川市議会議員 飯澤 明彦

砂川市が市制施行60周年を迎えるに当たり、砂川市議会を代表してお祝いの言葉を申し上げます。砂川市が道内26番目の市として誕生した昭和33年7月1日は、町議会から市議会に生まれ変わった日でもあります。同年4月には、臨時町議会が招集され、「市とすることについて、町民の生活を高め、文化を向上させ郷土発展の大きな契機となることを切望し賛成する」として全会一致で可決し、議会としても大きな期待を寄せたところでもあります。砂川市となってからは、恵まれた自然環境と交通の要衝として、地の利を生かしつつ、偉大な先達の方々、そして市民の皆さん一人一人のたゆまぬ努力のもと、都市施設の整備をはじめ、福祉・医療の向上、教育文化の育成、産業経済の振興など各方面において発展を続けて参りました。しかし、近年は、社会情勢が大きく変化し、少子高齢化、人口減少など、これまでにない新たな行政課題も数多いことに加えて、全国的に見

ても自然災害が多発し、市民の皆さんの生活、生命、財産を守るための危機管理も、より身近な、より重要な課題として対処していかなくてはならない状況になってきています。私たちは、自治体の存続そのものが問われるような時代を迎えているという危機感を持ちつつ、市制施行60周年という節目を迎え、決意を新たに、これら、多種多様な課題を乗り越え、私たちのまち砂川を次世代に引き継いでいかなければなりません。市制施行60周年を迎えた今年、地方創生に向けた多くの施策を展開するとともに、利用しやすい、親しみを持ってもらえる市庁舎の姿も明らかになってくるなど、これからも、市民の皆さんが希望を持って住み続けられるまちづくりを進めて参ります。砂川は、堅実に、そして着実に、未来へ向け歩みを進めているものと確信をしております。市議会は、市民福祉の向上とさらなる市勢発展のため、これからも市民の皆さんとともに、多くの課題に全力で取り組んで参ります。結びに当たり、市民の皆さんのおすますのご健勝とご多幸を心からお祈りして、お祝いの言葉といたします。

市の発展に 大きな功績を残された 砂川市名誉市民



故 森 利雄氏

昭和22年4月砂川町長に就任し、同33年7月の市制施行で初代市長となり同38年4月までの4期16年間にわたって、市政発展の基礎づくりに貢献され、同43年7月に逝去されました。同年8月に勲五等瑞宝章を受章されています。



故 鈴木誠二氏

昭和34年から同46年まで市議会議員として活躍され、その間議長、副議長、監査委員などの要職を歴任されました。同46年からは、4期16年にわたり道議会議員を務められ、地域の発展に多大な貢献をされました。平成元年に勲四等旭日小綬章を受章されています。同28年2月に逝去されました。



中川徳男氏

昭和58年4月から平成11年4月まで、第3代砂川市長として4期16年間、市政の発展に貢献されました。この間、「アメニティ・タウン砂川の創造」に向け、卓越した指導力を発揮され、地域社会の発展に大きく寄与されました。平成12年に勲四等旭日小綬章を受章されています。



故 山口正直氏

昭和38年5月第2代砂川市長に就任し、以来5期20年にわたり、市長として市政の発展に寄与されました。この間住民福祉の向上や産業振興などへの多大な貢献をされ、昭和59年11月に勲三等瑞宝章を受章されています。平成20年3月に逝去されました。



故 菊谷勝利氏

昭和46年から平成11年まで市議会議員として活躍され、その間議長、副議長を歴任されました。また、平成11年4月から同23年4月まで、第4代砂川市長として3期12年間にわたり、市政の発展に大きな功績を残されました。同24年に旭日中綬章を受章されています。同27年7月に逝去されました。

砂川市市制施行60周年記念式典



市制施行60周年記念式典
実行委員会委員長
其田 勝則

市制施行60周年式典の実行委員長の大役をおおせつかり、身の引き締まる思いでございます。式典を多くの皆さんとお祝いし、砂川の60年の歴史をしっかりと心に刻み、未来の砂川を多くの皆さんとともに歩んでいけたらと思います。講演を行う講師の「養老孟司」氏による「未来の砂川を考える」についても、期待が高まります。お楽しみいただけることとしますので、ぜひ会場へお越しくださいようよろしくお願いいたします。



- ▶と き 7月1日(日)
- ▶ところ 地域交流センターゆう
- ▶日 程 (式典)午後1時～1時40分 (講演)午後2時～ 講師 養老 猛司氏
- ▶入場料 無料 (整理券配布)
- ▶整理券取扱所 市役所(総務課・市民生活課窓口)、公民館、総合体育館、海洋センター、地域交流センターゆう ※ 数に限りがありますので、お早めにお求めください
- ▶お問い合わせ 庶務係☎2121